

# 2030年の「豊岡らしさ」とは

「中筋の秋の旬を楽しむ会」で感じるライフスタイルデザイン



すりやき(小麦粉を水に溶いて炭酸を入れて焼いたもの)作り。



新しい「暮らし方のかたち」を描き出すため、豊岡市は平成25年から東北大学と共同で、心豊かな楽しい、誰もがワクワクするような「未来のあたりまえ」のライフスタイルを研究しています。

10月16日に開かれた「中筋の秋の旬を楽しむ会」を通してその取組みを紹介します。

「すりやき」という食べ物を「ご存じでしょうか」。50年くらい前まで中筋地区では小麦が盛んに作られていて、子どものおやつとして食べられていました。

中筋の秋の旬を楽しむ会が中筋地区公民館で開催され、中筋小学校5・6年生とその保護者ら約100人が

参加しました。中筋地区で取れた旬の野菜を使った料理がふるまわれ、子どもたちは「すりやき」の調理体験や中筋産野菜63種類の名前当てクイズを楽しみました。



東北大学 名誉教授の石田秀輝さんが「地球とウンチを

考える！」と題し、「資源は限りがあり、全ては循環している」ということを分かりやすく解説しました。子どもたちは、イベントを通じて、地産地消できる自分たちの住む地域の豊かさを感じるとともに、地球環境を考えることができました。

◇ ◇

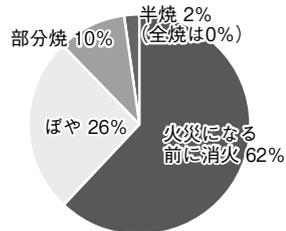
2030年の制約のある環境の中で、楽しく暮らせる生活を描くこと。それがライフスタイルデザインです。豊岡市では本年度から次の三つに絞って、市民の皆さんにも参画してもらい研究を深めています。

①豊岡の食材でつどう暮らし ②生命の循環を感じる暮らし ③とよおかマイスト

## 但東・竹野が高設置率

冬の「火事多発期」前に火災警報器で備えを!

### 火災警報器が作動332件



H21~26年9月中、県内で火災警報器が作動し消防機関に通報があったもの内訳(兵庫県調べ)

右の円グラフをご覧ください。平成21年から26年9月までの「火災警報器の作動件数です。」336件中、6割が未然に防止でき、ぼやで済んだものを合わせると、9割近くが最小限の被害にとどまったことが分かります。

ストーブなどの暖房器具により火災が多発する冬。急いで、設置しましょう。

天井などの室内に設置を

電池交換は10年が目安

豊岡市の地域別設置状況がまとまりました。10月末現在、火災警報器を設置している住宅は市内平均86%です。地域別では、但東と竹野が90%以上でした。

全358区中、設置率が100%の区は45区ありました。設置率100%を達成した区では、区長や役員の呼び掛けが決め手となっていました。反面、設置率が60%未満と低い区は5区ありました。

消防法と豊岡市火災予防条例の規定により、全ての住宅に設置が義務付けられている火災警報器。消防本部では、未設置宅を訪問し設置指導を行っています。

火災警報器は、火災の早期発見と就寝中の安全確保、延焼防止に大変有効なことが立証されています。かけがえのない命や財産を守るため、地域ぐるみでの取り組みが望まれます。

# 初冠雪の翌朝が危ない 12月1〜10日は年末の交通事故防止運動

平成21年の12月17日の朝、FMジャングルは、通勤途中のリスナーから豊岡―日高間の大渋滞の情報を得て警察に確認。その後、豊岡市内で53件もの交通事故（未明に降雪。路面凍結によるスリップが原因）が発生したと放送しました。**年末の交通事故防止運動**（12月1日〜10日）を前に、豊岡南警察署で冬季の交通事故の特徴を聞きました。



最後に循環を示す参加者（主催は、地域コミュニティ中筋地区・中筋地区公民館・豊岡市）  
▲楽しみながら地産地消を学ぶ（野菜あてクイズ）



「昨季では、平成26年1月10日（金）。急に雪が降り、雪道用タイヤの段取りが出て来ていなかったのか、豊岡南署管内の朝だけで10件近く交通事故が起こっています」と交通課長の小田 仁さん。気温が急に下がりと初霜となった朝も要注意と交通課警部補の垣尾徳雄さん。二人の印象に残る事故多発地点は「橋、特に178号線岡山大橋」「神美トンネ

ーリーバッグ。※詳しくは市ホームページ参照。  
目に見える具体策を実践し「自然に抱かれて生きる豊岡の新しい暮らし方」が、市民の皆さんの「あたりまえ」になるよう広がっていきたいと考えています。  
《問合せ》エコバレー推進課  
☎23-4480



かまぼこ型（一）の橋でスリップ事故が多発すると地図で示す

ルを出た所「山影でいてつきやすい道」など。そのほか、抜け道をスピードを出してスリップした車が人や対抗車を避け、田んぼに落ちる事故もこの時期多発しているといえます。  
悲惨な交通事故を防ぐにはどうすればいいのでしょうか。



（出石健康福祉ゾーン先の）室見台の山影の路面凍結は、少しの速度超過も事故に

うか。  
①フロントガラスに霜や雪が残る視界の悪い車での出発  
②雪用タイヤ装着の過信  
③急発進、急ブレーキ、急ハンドルが事故のもとと小田課長は断言します。雪や気温の低下を意識した安全運転が求められます。

## 市内の住宅用火災警報器の設置状況

※平成26年10月末現在

地域別	設置率 (%)	地区数	設置率別地区数		
			100%	60以上100%未満	60%未満
豊岡	85.2	121	8	109	4
城崎	87.6	31	4	27	0
竹野	91.5	43	12	31	0
日高	86.3	70	5	65	0
出石	81.7	51	4	46	1
但東	94.6	42	12	30	0
合計	86.0	358	45	308	5

### 【火災警報器が鳴ったら】

- ①火災かどうかを確認
  - ②火災なら、周囲に知らせ、消火と119番通報
  - ③消火できないときは避難
- ※火災でなければ、原因の煙や湯気を除去し、警報音を止めます。  
《問合せ》消防本部予防課  
☎24-1119(代) FAX24-1176

夕暮れ時に交通事故が多発しています。早めにライト点灯を。自転車が加害者となる事故が増えています。左側通行、夜間のライト点灯しましょう。

### 年末の交通事故防止運動

**重点** 夕暮れ時の交通安全  
自転車の交通安全 ほか



交通課 松井友里さん

■2、3ページに、トピックスや重点広報事項をポイントを絞ってコンパクトにまとめました